

地域まちづくり計画各地区事業報告

～令和6年度事業版～



秦野市・秦野市自治会連合会

はじめに

令和3年4月にスタートした総合計画はだの2030プランにおける「地域まちづくり計画」を推進するため、各地区のまちづくり委員会では、秦野市からの「地域まちづくり計画推進交付金」を活用して、それぞれの地域の個性や魅力を生かしたまちづくりに取り組んでいます。

また、市内8館の公民館長が地域まちづくりコーディネーターとなり、まちづくり委員会のメンバーと共に「地域まちづくり計画推進交付金」の活用方法の検討等を行い、地域と協働して地域まちづくり計画の推進に取り組んでいます。

「地域まちづくり計画推進交付金」は、1地区あたり100万円を上限として交付され、交付開始4年目となる令和6年度の各地区の取組み（活動報告）をまとめましたので、ご報告いたします。



目 次

1	地域まちづくり計画	- 1 -
(1)	計画の位置付け・役割	- 1 -
(2)	計画の意義等	- 1 -
①	地域づくりの指針	- 1 -
②	協働による地域づくり	- 1 -
(3)	地域区分	- 1 -
2	各地区まちづくり委員会名称	- 2 -
3	各地区の取組み	- 3 -
(1)	本町地区	- 3 -
(2)	南地区	- 5 -
(3)	東地区	- 7 -
(4)	北地区	- 9 -
(5)	大根地区	- 11 -
(6)	鶴巻地区	- 13 -
(7)	西地区	- 15 -
(8)	上地区	- 17 -

1 地域まちづくり計画

(1) 計画の位置付け・役割

地域まちづくり計画は、本市の都市像「水とみどりに育まれ誰もが輝く暮らしよい都市（まち）」の実現を図り、市民一人ひとりが地域に愛着を持ち、地域の個性や魅力を生かしたまちづくりを市民と行政が協働・連携して進めるための指針とするものです。

(2) 計画の意義等

① 地域づくりの指針

まちづくりの推進には、その主体となる地域住民が地域の特性や課題を把握し、まちづくりの必要性を認識するとともに、地域のまちづくりに対する考え方や方針を行政と共有することが大切です。

地域まちづくり計画は、市民一人ひとりがまちづくりの構成員としての認識に立ち、自助、共助の立場から、地域に根ざしたまちづくりに参加し実践していくための指針となるものです。

② 協働による地域づくり

地域まちづくり計画は、地区まちづくり委員会を中心とした市内8地区の地域まちづくり計画策定会議により検討、提案された計画案をもとに、地域の特性を踏まえつつ、市全体としての調和も考慮しながら作成されたものです。

この計画をもとに、地域と行政が共に目指す地域（まち）の姿に向かって持続的に行動し、地域が活性化することにより本市のまちづくりの発展につなげていきたいと考えています。

(3) 地域区分

それぞれの地域におけるまちづくりの課題等に対応するため、自然や歴史、文化等の視点から、市内8地区（本町、南、東、北、大根、鶴巻、西、上）ごとに定めま

す。

2 各地区まちづくり委員会名称

- ・本町地区きれいなまちづくり委員会
- ・南地区きれいな住みよい町づくり運動推進委員会
- ・東地区まちづくり運動実施委員会
- ・北地区まちづくり委員会
- ・大根地区新しい街づくり運動推進委員会
- ・鶴巻地区住んでよかったまちづくり協議会
- ・西地区住みよい町づくり運動推進委員会
- ・上地区みんなで住みよいまちづくり運動推進委員会

3 各地区の取組み

(1) 本町地区

■目指す地域（まち）の姿

①目指すまちの姿(将来像)

活力とふれあいに満ちた、きれいで安全な暮らしよいまち

②基本理念

コミュニティ活動が活発で高齢者から子どもたちに伝統文化が受け継がれるなど、世代間の交流が盛んなふれあいの心を大切にしたいまちを目指します。

■地域づくりの基本目標

①にぎわいづくりによる活気あふれるまち

②地域活動や多世代交流が盛んで、多文化が共生するあたたかいまち

③みんなで子どもや高齢者、障害者を支えるまち

④子どもや高齢者の交通安全が確保されたまち

⑤安心して暮らせる災害に強く、治安のよいまち

⑥豊かな自然に囲まれ、歴史と伝統を感じるまち

■令和6年度の主な事業

- ・拠点環境整備・活用事業
- ・高齢者・子育て・教育活動の支援
- ・環境美化活動の実施
- ・公民館との連携事業の実施



地区拠点「あつまる！本町交流館」

■主な取組内容

◇拠点「あつまる本町交流館」の活用

- ・地元自治会、地区社協、学生団体E 4等が会議室として利用するほか、「就労応援サロン」及び「まちかど福祉相談室」等を定期的で開催し、地域活動拠点としての利用を推進しました。

- ・ 7月1日から7日まで七夕飾りを飾るなど、季節行事が楽しめる工夫や9月のたばこ祭りでは、コーヒーを提供し、来場者をもてなすなど、地域交流に取り組みました。

◇高齢者・子育て・教育活動の支援

- ・「地域交流みんなのサロン」の開催

11月に本町公民館において、「地域交流みんなのサロン」を開催し、「笑いヨガと音楽療法」をテーマに楽しい時間を過ごしました。

- ・「ママとキッズのほっとサロン」の開催

6月及び11月に本町公民館において、「ママとキッズのほっとサロン」を開催し、子育てや教育活動の支援をしました。

- ・「本町寺子屋」の開催

8月に本町地区民生委員児童委員協議会と本町地区社会福祉協議会との共催で、本町公民館において、本町小学校及び末広小学校の児童を対象に「本町寺子屋」を開催しました。

本町中学校邦楽部による琴の演奏やボランティアグループによる秦野民話の紙芝居コーナーのほか、折り紙コーナーや秦野曾屋高校卓球部による卓球指導を行いました。

◇公民館との連携事業

- ・本町公民館まつりへの模擬店出店

2月に実施された公民館まつりにポップコーンや綿菓子、子供向けの模擬店を出店し、地域活動の推進に取り組みました。



本町寺子屋で熱心に学ぶ



たばこ祭りには憩いの場として定着



サロンで地域交流

(2) 南地区

■目指す地域（まち）の姿

豊かな水と緑に囲まれ、素晴らしい環境で誰もが住んでみたいと思うまち

■地域づくりの基本目標

- ①交通安全、防犯、防災対策による安全で安心して暮らせるまち
- ②ふれあいやいたわりによる、生きがいを持って暮らせるまち
- ③安心して子育てができ、子どもたちが心豊かに成長できるまち
- ④恵まれた自然を生かした観光地、名所づくりによる活力に満ちたまち
- ⑤地区にかかわる様々な人々が交流するあたたかいまち

■令和6年度の主な事業

- ・震生湖周辺美化環境整備
- ・通学路美観づくり（花いっぱい運動）
- ・子ども会活動支援
- ・女性部会活動支援
- ・室川部会活動支援

■主な取組内容

◇震生湖周辺美化環境整備

- ・3月に震生湖周辺のごみ拾い活動を行うとともに、丸太ベンチ（5台）を設置し、環境整備に取り組みました。



地域を思い作業に励む



ベンチでもてなし



ベンチ側面の木製プレート

◇通学路美観づくり（花いっぱい運動）

- ・10月に、通学路の美観づくり及び地域の防犯力の向上を目的にスイセンの球根を植え、子どもたちが安心して通学できる環境整備に取り組みました

◇子ども会活動支援

- ・南子連にTシャツ・ビブス（各50着）を購入し、ドッジボール大会等で活用するなど、子どもの地域活動の環境整備に取り組みました。

◇女性部会活動支援

- ・レクリエーション協会に着物（10着）を購入し、敬老会で踊りを披露するなど、女性の地域活動の環境整備に取り組みました。

◇室川部会活動支援

- ・室川の環境整備

8月に啓発用の写真パネルを2枚作成し、南地区を流れる貴重な自然資源である室川とホタルの生息環境の理解促進に取り組みました。

- ・2月にホタルの生息環境保全の理解促進を目的とする啓発看板を作成し、いまいずみほたる公園内の8箇所に設置しました。

- ・室川通信の発行

2月に室川通信を作成し、各自治会等に配付するなど室川の魅力を発信し、普及啓発に取り組みをしました。



新しい着物で地域行事を盛り上げる



おそろいのTシャツで子どもの心も一つ



ホタルの生育のために



読めば室川がもっと身近に

(3) 東地区

■目指す地域（まち）の姿

①目指すまちの姿(将来像)

豊かな自然と歴史や文化が調和した住みよいまち

②基本理念

心の絆を大切にするまちづくり

■地域づくりの基本目標

①住民が誇りにできる丹沢や大山、湧水等の豊かな自然と、史跡や文化財等の遺産を積極的に生かしたまちづくり

②豊かな自然に囲まれたゆとりある環境を大切にした、安全で安心して暮らせる持続可能なまちづくり

③日常のふれあいや共同活動を通して生み出される連帯感や信頼関係を基礎に、自分たちが住んでいる地域をみんなの力で支えあい、住みよくしていく心の絆を大切にするまちづくり

■令和6年度の主な事業

- ・田原ふるさと公園等を生かした地域活動の実施
- ・地域内活動の支援
- ・地域コミュニティ活動の充実

■主な取組内容

◇田原ふるさと公園等を生かした地域活動

・ベンチ（20台）を購入し、実朝まつり等の来場者休憩スペースに活用するなど、地域活動の充実に取り組みました。

- ・金槐植物苑植栽整備

金槐和歌集由来植物の補植や整枝、剪定を行い、金槐植物苑を整備しました。

- ・実朝まつり出前授業

東小学校の4年生を対象に、実朝まつりに関する出前授業を行い、次世代への伝統継承及び理解促進に取り組みました。

◇地域内活動の支援

- ・踊りやダンス等を行う地域活動団体の活動を支援するため、鏡を購入し、活動の環境整備に取り組みました。

◇地域コミュニティ活動の充実

- ・地域団体の円滑な情報共有や連携強化に向けて、レターケースを購入して公民館に設置し、地域活動の活性化に向けた環境整備に取り組みました。



源実朝公御首塚での法要



新たに購入したベンチでゆっくり鑑賞



東小学校で実朝まつりについて語る

(4) 北地区

■目指す地域（まち）の姿

①目指すまちの姿(将来像)

豊かで美しい自然と共生し、地域の活力があるまち

②基本理念

良好な河川環境、みどり豊かな里地里山を保全しながら、地域住民のふれあいがあり、安全で快適に住み続けることができるまち

■地域づくりの基本目標

①誰もが安全で安心して暮らし続けられるまち

②新東名高速道路を中心に利便性の高い活力あるまち

③みどり豊かな自然景観の適切な保全と活用による魅力あるまち

④住民のふれあいと交流が盛んで、次世代へとつながれるまち

■令和6年度の主な事業

- ・安全安心な暮らしの推進
- ・自然・景観の保全
- ・ふれあい活動の実施

■主な取組内容

◇防災用品の整備

- ・単位自治会にホイッスルやライトの防災グッズを配付し、防災力の強化に取り組みました。

◇水無川河川敷及びしだれ桜下草刈り

- ・年2回（4月、7月）に水無川遊歩道及び河川敷の除草作業を行いました。役員だけでなく一般の参加者の協力もあり、作業前に準備運動を行い、しだれ桜下の石垣の隙間から生えた草を刈り取るなど、約400メートルにおよぶ広さの美化活動に取り組みました。



作業前の準備運動も入念に

◇水無川遊歩道の花植え

- ・年2回（5月、11月）、令和4年から取り組んでいる水無川左岸（平和橋～堀戸大橋）にある8箇所の花壇に、パンジーやビオラ等の花を植え、地区内の自然・景観の保全に取り組みました。



お花いっぱい花壇も魅力

◇地域コミュニティマップの設置

- ・7月に、北地区の風光明媚な街を案内するため、名所、官公庁、商店、公園など主だったものを記載した誰が見ても、分かりやすく工夫されたコミュニティマップを既に設置済みの菩提地区に加え、新たに羽根及び戸川地区にも設置しました。また、このマップを紙媒体で地域内に配布し、地域の愛着の醸成を図りました。

◇芸能まつりの開催

- ・12月に、地域内で芸能活動をする仲間が交流し、大きな輪となることを願い、「第13回北地区芸能祭」を開催しました。大正琴、タップダンス、舞踊、詩吟、カラオケ等、日頃の練習の成果が披露され、地域交流の活性化に取り組みました。

◇クリスマス会の開催

- ・12月に、北幼稚園児とその兄弟姉妹、保護者を対象に、令和6年度で3回目となる「クリスマス会」を開催しました。クイズ、ゲーム、サンタさんからのプレゼントの催しがあり、子育て世代をはじめとする地域のふれあいづくりに取り組みました。

◇コミュニティ保育グループ「原っぱ」の支援

- ・北公民館で活動する「原っぱ」の活動を支援し、幼稚園入園前の、同年代の子ども同士で、触れ合いながら、仲良く遊べる環境作りに取り組みました。



除草作業を終えた遊歩道



イラスト入り北地区を紹介



北地区の魅力が満載

(5) 大根地区

■目指す地域（まち）の姿

①目指すまちの姿(将来像)

安全・安心・清々しいやさしいまち

②基本理念

安心に、いつまでもいきいきと暮らせる住み良いまち

■地域づくりの基本目標

①自然を大切にするまち

②子ども、高齢者、社会的弱者の誰もが快適で、安全な生活環境づくりへ努力するまち

③いやしの場づくりへ努力するまち

④人間関係を豊かにするまち

⑤思いやりとやさしさを持つ、元気な子どもを育てるまち

■令和6年度の主な事業

- ・「みんなの食堂☆ラパニス」活動の支援
- ・ふれあい動物園の実施
- ・オープンキッズランドの実施
- ・ひろはたこども園及び大根小学校のボランティア活動支援
- ・広畑小学校PTA活動の支援
- ・市制施行70周年記念桜の植樹



桜の植樹を記念にプレート、標柱も設置

■主な取組内容

◇こども食堂「みんなの食堂☆ラパニス」の支援

- ・秦野精華園内にあるこども食堂「みんなの食堂☆ラパニス」の光熱水費等の費用を助成し、社会福祉法人かながわ共同会秦野精華園・みんなの食堂☆広畑・大根地区新しい街づくり運動推進委員会が協力して運営することで、地域の子どもの食生活の充実などに取り組みました。



みんなで食べると一層おいしい

◇「ふれあい動物村」及び「オープンキッズランド」の実施

- ・10月に開催した第32回大根ふれあいまつりにおいて、ヤギやウサギ等の小動物に触れることができる「ふれあい動物村」や子どもが遊べる「オープンキッズランド」を実施し、地域交流に取り組みました。

◇こども園・小学校のボランティア活動支援

- ・ひろはたこども園の樹木及び植栽や大根小学校の花壇の花植え等のボランティア活動を支援しました。

◇小学校PTA活動の支援

- ・広畑小学校のPTA年末バザーの実施を支援し、地域と学校、PTAとの地域交流に取り組みました。

◇新年凧あげ大会の実施

- ・1月の新年凧あげ大会を実施し、焼き芋のキッチンカーを出店するなど工夫し、多くの親子連れが参加し、季節行事の継承とともに地域交流に取り組みました。

◇市制施行70周年記念桜の植樹

- ・1月に弘法山の展望デッキ付近において、大根小学校3年生及び広畑小学校3・4年生の児童（計100名）により、市制施行70周年を記念した桜（ジンダイアケボノ、計2本）の植樹を行いました。

◇事務局機能の整備

- ・パソコンやプロジェクタースクリーン等を購入し、効果的な会議運営等が行えるよう事務局機能の整備を図りました。



子どもも高齢者も楽しめるふれあいまつり



桜の成長を楽しみに



桜の植樹を終え、弘法山の展望デッキで

(6) 鶴巻地区

■目指す地域（まち）の姿

①目指すまちの姿(将来像)

水と緑と眺めを楽しめる、人にやさしいにぎわいのあるまち

②基本理念

誰もが誇りと愛着の持てる「住みたい・住んでよかった鶴巻まちづくり」

■地域づくりの基本目標

①温泉を楽しめるにぎわいと活力のあるまち

②安全で安心して暮らせる人にやさしいまち

③歴史、文化、環境を大切にし、景観を楽しめるまち

④人との交流を深め、互いに助けあうまち

■令和6年度の主な事業

- ・ほっとワークつるまきの運営支援
- ・みんなのての運営支援
- ・つどいの場 きらくの運営支援
- ・あじさい遊歩道の整備
- ・桜植樹の実施

■主な取組内容

◇地区拠点の活用・支援

- ・様々な会議及び教室が開催される「ほっとワークつるまき」や多世代交流ひろば「みんなのて」、子育て支援の教室や児童・生徒向けの自習・相談室を展開する「つどいの場きらく」の地区拠点の利活用を推進し、鶴巻地区社会福祉協議会、高齢者支援センターなど他機関と連携しながら地域交流の活性化に取り組みました。

※ つどいの場きらく学習室の取組みは、令和7年1月20日に「かながわ子ども・子育て支援草の根賞」を受賞しました。

・みんなので多世代交流イベント「子ども服古着市」の開催

5月に鶴巻上部自治会館を会場に、不要となった子ども服や絵本等を活用し、「子ども服古着市」を開催し、資源の有効活用と多世代交流を図りました。

・「みんなの食堂☆つるまき」で食事提供、食品配付

毎月第3日曜日に、高齢者から子どもまでの多世代交流や孤食の防止、食育の推進などを目的に、いただいた食材を使って食事を用意し、無料または安価で食事を提供するほか、食に関する様々なサポートに取り組みました。

また、毎月第2日曜日には、企業や個人等から寄せられた食品の無償提供（フードバンク）を行いました。

◇「つるまきあじさい遊歩道」の整備

善波川と大根川沿いの2.7キロに及ぶ遊歩道の草刈り等を4グループで毎月1回定期的に行い、あじさいのほか、ゆりや菜の花など、四季の花々が彩り富士山が見える遊歩道の景観の維持に取り組みました。

また、6月には、「つるまきあじさい遊歩道まつり」を開催し、当日は、大根川ポンプ場の見学も実施するなど、地域の理解促進と地域活性化に取り組みました。



きれいな遊歩道は継続した地域の力の結晶



「つるまきあじさい遊歩道まつり」
を楽しみに集まる



子どもの拠り所 きらくの学習室



地域をつなぐ「子ども服 古着市」

(7) 西地区

■目指す地域（まち）の姿

①目指すまちの姿(将来像)

- ・豊かな自然環境を維持し、四季を感じることができる美しい町並みのあるまち
- ・個性豊かで元気とにぎわいのあるまち

②基本理念

- ・誰もが安心して暮らせるよう、互いに協力します
- ・住民同士のふれあいを通じて地域の活性化を進めます

■地域づくりの基本目標

- ①まちの魅力、にぎわいの創出
- ②道路・交通環境の整備
- ③防災・防犯・安全の強化
- ④教育・文化・福祉の拡充、交流の促進
- ⑤農林業の振興

■令和6年度の主な事業

- ・花の植え付け
- ・手作りベンチの設置
- ・頭高山の整備(テーブルとイスの設置等)
- ・きれいで快適な生活環境づくり

■主な取組内容

◇花の植え付け

- ・12月から、西幼稚園や西小学校、西中学校等にパンジーの花の植え付けを行い、四季を感じることができる町並み、景観づくりに取り組みました。

◇植樹祭

- ・ 5月に頭高山において、市主催の「第18回植樹祭」が開催され、西地区からは無料のコーヒーを提供するなど、市と連携し、地域の魅力発信、地域資源の活用等に取り組みました。

◇頭高山の整備

- ・ 7月に、頭高山の山頂に手作りのテーブル4台と丸太のイスを設置し、にぎわいづくりに向けた魅力の向上及びハイカーの集客に取り組みました。
- 11月に、ハイカーが長く桜を楽しめるよう、新たに河津桜5本を植樹しました。

◇頭高山に巣箱の設置

- ・ 渋沢小学校の6年2組の児童（39名）を対象に、10月に巣箱（40箱）を作成し、11月に頭高山に設置しました。地域と児童の交流を図りながら、頭高山の魅力向上と地域の思いの次世代への継承に取り組みました。

◇ベンチの作製・設置

- ・ 2月に令和6年度に作製したベンチ6台に加えて、前年度に作製したベンチ5台と合わせて11台を、西地区内の幼稚園・小学校・中学校の子どもたちの協力を得て、絵付けを行いました。ベンチは頭高山のハイキングコースや山頂等に設置し、地域交流を図り、次世代の地域愛の醸成を図りました。

◇水無川右岸桜堤下草刈りの実施

- ・ 6月と9月に、水無川右岸桜堤の除草を行い、秋に下水路口に桜の葉が集まり、道路に深い水たまりができていた状況を改善し、きれいで快適な生活環境づくりに取り組みました。



花いっぱいの学校に



巣箱作りに夢中



みんなで協力し巣箱を設置

(8) 上地区

■目指す地域（まち）の姿

豊かな自然と交通環境との調和、人・まち・資源を生かした魅力と活力あるまち

■地域づくりの基本目標

- ①多様な介護予防運動に取り組む笑顔があふれるまち
- ②豊かな自然や地域資源を利活用した新しい地域おこしを目指すまち
- ③里地里山の豊かな自然と共生し、住む喜びを感じるまち
- ④地域の生活にあった交通手段を維持し、便利で暮らしよいまち

■令和6年度の主な事業

- ・富士登山支援活動
- ・非行防止支援活動
- ・かみみらい会議
- ・農園ハイク
- ・いなか暮らしふるさと塾
- ・ガイドマップ作成調査
- ・ハイキングコース整備
- ・納涼大会

■主な取組内容

◇富士登山支援活動

- ・7月に、上小学校6年生を対象に募集を行い、上地区青少年育成部会による富士登山が行われ、参加児童15人のうち2人が山頂に登頂し、伝統事業の活動を支援しました。

◇納涼大会

- ・8月に納涼大会を開催し、地区ごとの太鼓連の演奏や上幼稚園の園児による「アンパンマン音頭」の踊りや花火等が披露されるとともに、様々な模擬店を出店しました。

子どもから高齢者まで多くの参加者のもと、地域の季節行事の継承に取り組みながら、多世代にわたる地域交流の充実を図りました。

◇農園ハイクの開催

- ・ 6月に市と連携して、美しい自然の中をハイキングしつつ、野菜などの収穫を体験できるイベント「農園ハイク」を開催しました。極早生モモ、アスパラガス、ジャガイモ、ニンジン、タマネギ等の様々な野菜の中から、購入したチケットと引き換えに選び、収穫方法等を学ぶことができ、上地区の魅力発信や参加者と地元農家との交流に取り組みました。

◇いなか暮らしふるさと塾

- ・ 6月と12月に田舎暮らしふるさと塾を開催し、上地区の豊かな自然を感じながら、里山をのんびり散策するイベントとして移住者お試し住宅の見学や薪割り、ハンモック体験など、市と連携して事業を開催しました。また、昼食には地元食材を使った汁物などの地元の恵みたっぷりの田舎料理が提供され、竹を使ったおもちゃやクリスマスリース作り、季節野菜の収穫等を実施しました。

◇生き物の里の維持管理活動

- ・ 柳川地区にある生き物の里の草刈作業等の維持管理活動を行い、5月には公民館事業の上幼稚園児を対象とした「生き物の里調査隊」が開催されるなど、地域ぐるみで地域資源を生かした取組みを行いました。

◇非行化防止事業

- ・ 3月に上小学校の児童を対象に、神奈川県警察本部に視察研修に行き、非行化防止の説明など、青少年の健全な育成の支援に取り組みました。



上地区の魅力を存分に



登るぞ富士山



6年生がチャレンジ

地域まちづくり計画各地区事業報告
令和7年6月1日発行
秦野市・秦野市自治会連合会事務局
(秦野市くらし安心部市民活動支援課)
〒257-8501
秦野市桜町一丁目3番2号
電話 0463-82-5118 (直通)